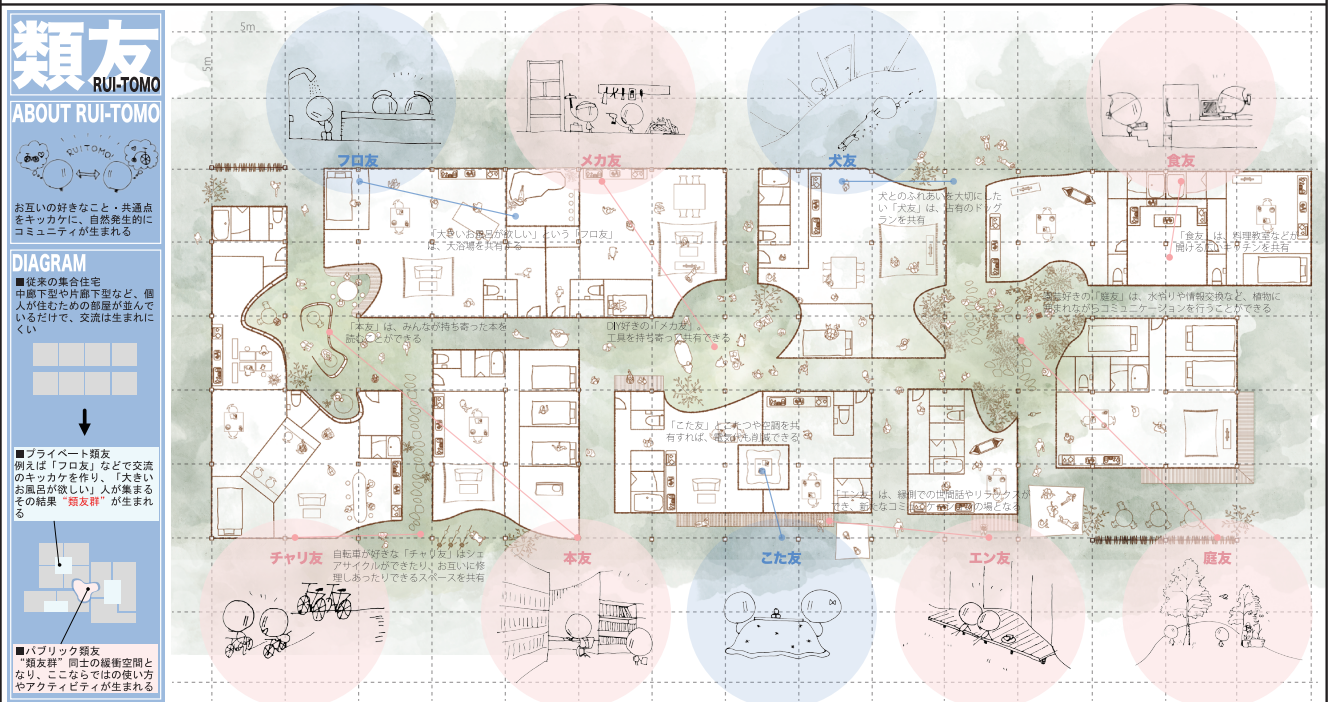


川上樹 / 齋藤翔太 (立命館大学建築デザイン科)



氏名 / Name	川上 樹、齋藤 翔太	コンセプト / Concept	「社会におけるコミュニティベース」といえば聞こえは良いが、実情はどうだろうか。例えばマンション内に単なる「交流スペース」があっても、交流を目的として積極的に使う人は実際少ないだろう。 「類友を呼ぶ」ということわざがある。 料理教室で出会った人、「ママ友」というご近所づきあい、オフ会などでは、お互いの好きなものや共通点をきっかけに、自然発生的にコミュニティが生まれている。 こういった、コミュニティの本来あるべき姿「類友」によって交流のきっかけをつくり出し、多様なコミュニティが共存する住居を提案する。
所属 / Affiliation	立命館大学 建築都市デザイン学科		
部門 / Section	コミュニティデザイン部門 / 社会問題解決型住居部門		

アイディア / Idea



○なぜその建物を作りたいと思いましたか？またなぜ応募しようと思いましたか？

このコンペは第1回ということもあり、挑戦したいと思いました。社会的な流れに対して、Communitityという新しい概念を提示しているオークハウス様の取り組みに興味を持ち、応募しました。

○提出作品を作るところに大変だったことはありましたか？

敷地が与えられてないからこそ、難しかった部分があります。今の社会に合ったシステムを考え出すことに苦勞し、議論を重ねました。

○実現するとしたらどこでつくりたいですか？

逆に、どこでも実現可能なシステムだと考えています。

○シェアハウスに住んだことはありますか？

ある。自分の部屋の中が動線となっていており、肝心のシェアの部分が逆にデメリットになっていたため、ある程度プライベートな空間を持ったシェアハウスが理想だと考えるようになりました。

○このコンペティションを通して今後こういったシェアハウスを考え、企画したいと思いますか？

今回私たちが提案したように、「部屋ごとにアイデンティティを持ったシェアハウス」を企画できたらと思います。

○最後に発表に向けて意気込みをお願いします！

私たちの考えた「新しいシェアハウスのあり方」の価値をみなさんに提示できたら幸いです。